

# 2022年度 第2四半期 決算説明会 資料

## ファナック株式会社

本資料に記述されている業績見通し等の将来に関する記述は、主要市場における製品の需給動向、競合状況、経済情勢その他に不透明な面があり、実際の業績は見通しと異なる可能性があることをご承知おき願います。

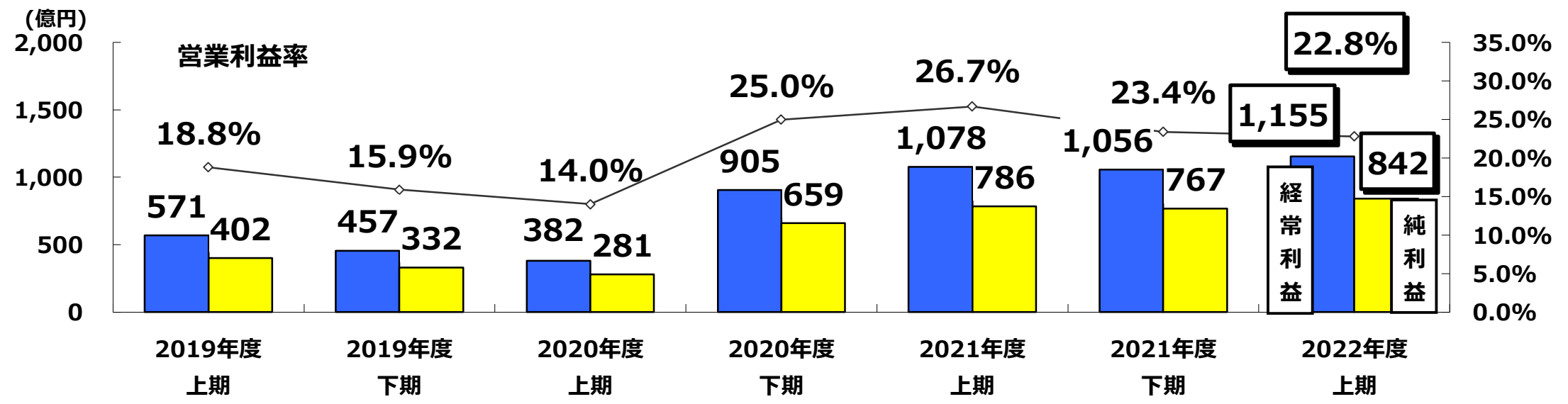
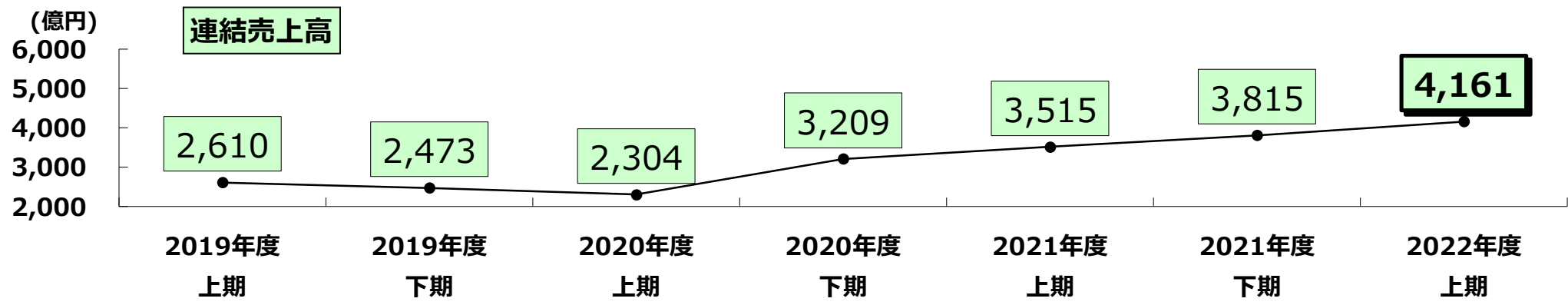
# 2022年度 上期 連結実績

(金額単位：億円)

	2021年度 上期実績		2022年度 上期予想		2022年度 上期実績		増減率 前年同期比	増減率 前回予想比
		売上高比		売上高比		売上高比		
売上高	3,515	100.0%	4,123	100.0%	<b>4,161</b>	<b>100.0%</b>	+18.4%	+0.9%
売上原価	2,054	58.4%	2,501	60.7%	<b>2,550</b>	<b>61.3%</b>	+24.2%	+2.0%
営業利益	939	26.7%	966	23.4%	<b>947</b>	<b>22.8%</b>	+0.8%	▲2.0%
経常利益	1,078	30.7%	1,151	27.9%	<b>1,155</b>	<b>27.8%</b>	+7.2%	+0.4%
特別損益	▲5		-		-		-	-
純利益	786	22.4%	830	20.1%	<b>842</b>	<b>20.2%</b>	+7.1%	+1.5%
為替レート								
円/1USD	109.80		127.29		<b>133.97</b>			
円/1EUR	130.90		136.56		<b>138.73</b>			

純利益＝親会社株主に帰属する純利益

# 連結売上高・損益 半期推移



純利益=親会社株主に帰属する純利益

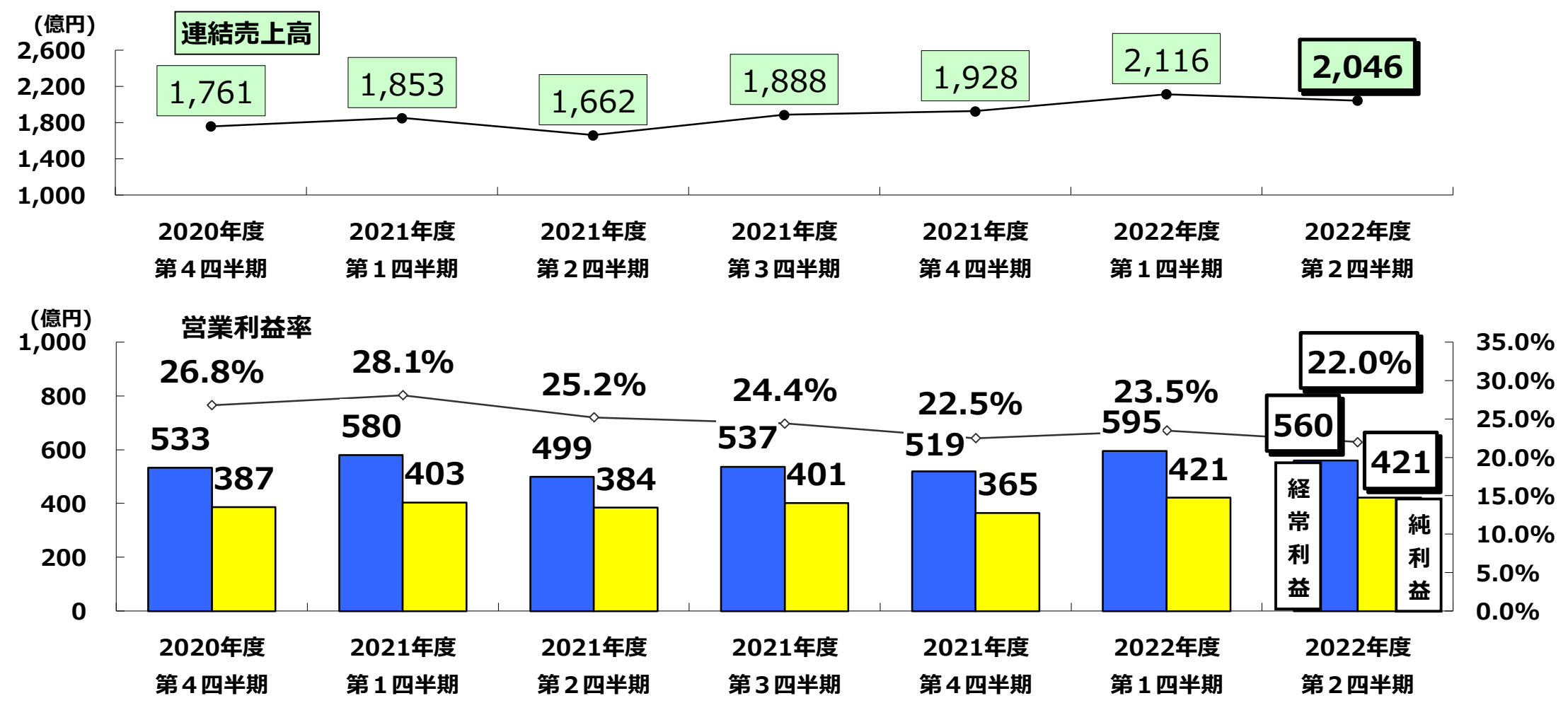
# 2022年度 第2四半期(3ヶ月) 連結実績

(金額単位：億円)

	2021年度 第2四半期 (7~9月)		2022年度 第1四半期 (4~6月)		2022年度 第2四半期 (7~9月)		増減率 前年同期比	増減率 前四半期比
		売上高比		売上高比		売上高比		
売上高	1,662	100.0%	2,116	100.0%	<b>2,046</b>	<b>100.0%</b>	+23.1%	▲3.3%
売上原価	980	58.9%	1,296	61.3%	<b>1,254</b>	<b>61.3%</b>	+28.0%	▲3.3%
営業利益	419	25.2%	498	23.5%	<b>449</b>	<b>22.0%</b>	+7.3%	▲9.7%
経常利益	499	30.0%	595	28.1%	<b>560</b>	<b>27.4%</b>	+12.3%	▲5.9%
特別損益	-		-		-		-	-
純利益	384	23.1%	421	19.9%	<b>421</b>	<b>20.6%</b>	+9.7%	▲0.1%
為替レート								
円/1USD	110.11		129.57		<b>138.37</b>			
円/1EUR	129.84		138.12		<b>139.34</b>			

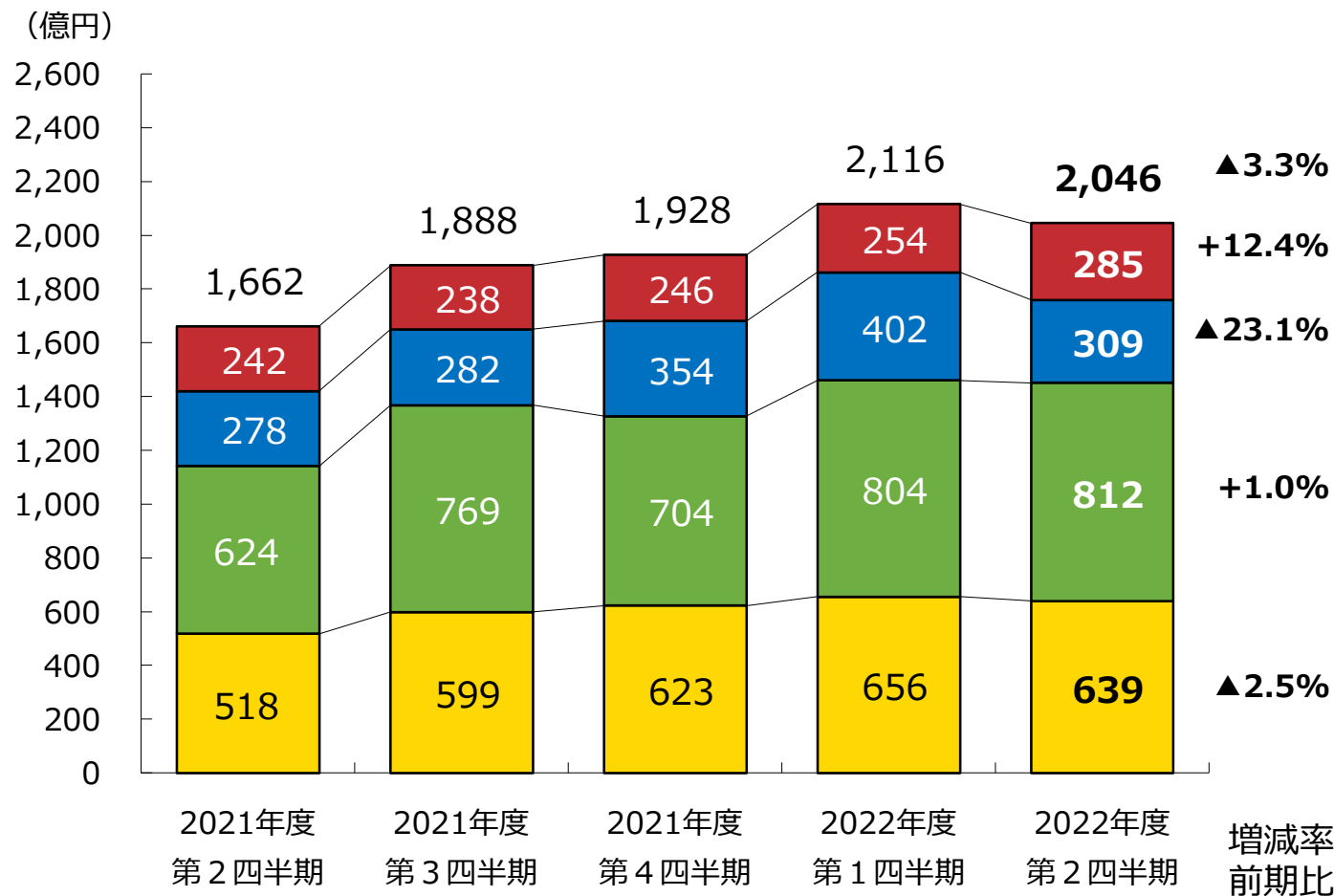
純利益=親会社株主に帰属する純利益

# 連結売上高・損益 四半期推移



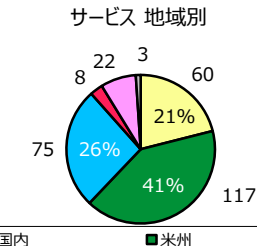
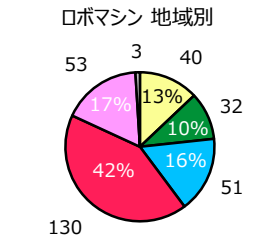
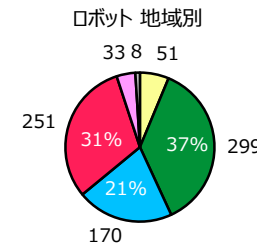
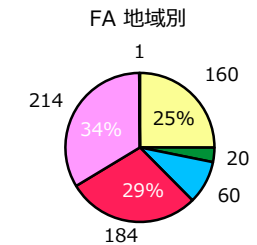
純利益=親会社株主に帰属する純利益

# 連結 部門別売上高



第2四半期（3ヶ月）の状況  
〔2022年度第1四半期との比較〕

サービス	国内、米州で増加。
ロボマシン	中国で減少。
ロボット	欧州で増加。 米州で減少。
FA	国内、韓国で減少。 欧州、中国で増加。

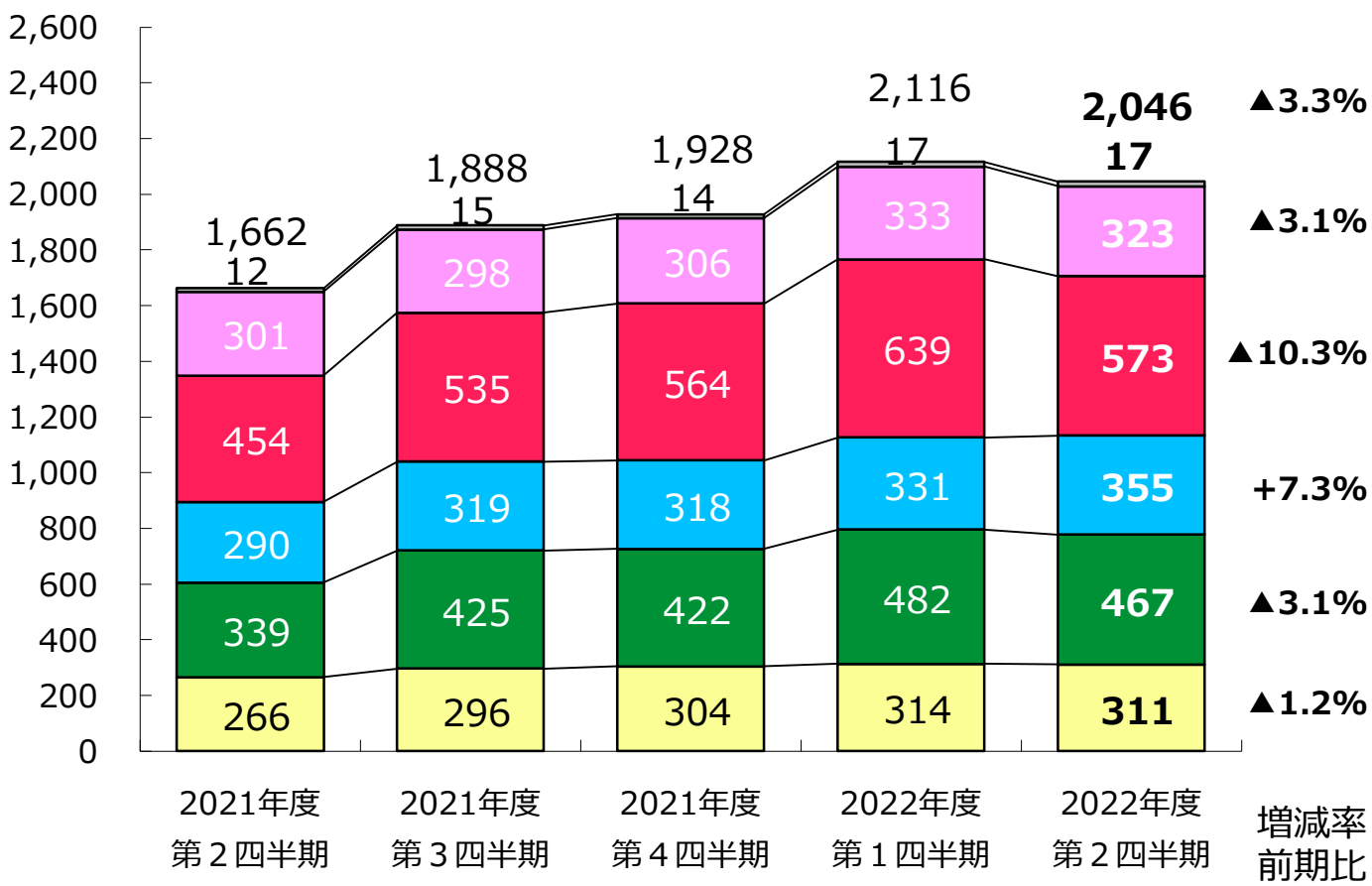


※中国で持分法適用会社が行っているサービスの売上高は連結売上に含まない

■ 国内 ■ 米州  
■ 欧州 ■ 中国  
■ アジア（中国以外） ■ その他

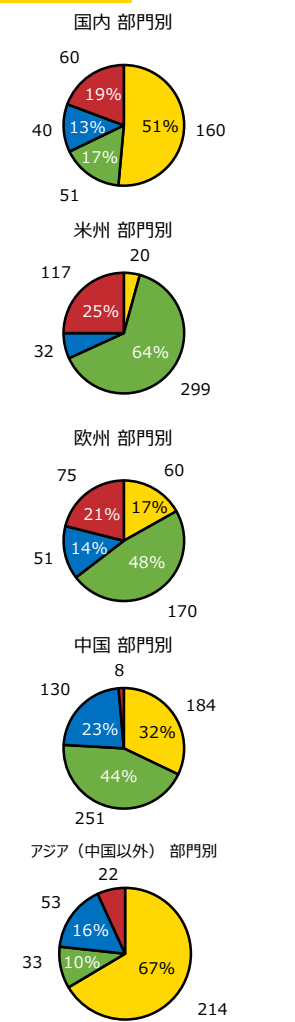
# 連結 地域別売上高

(億円)



第2四半期（3ヶ月）の状況  
〔2022年度第1四半期との比較〕

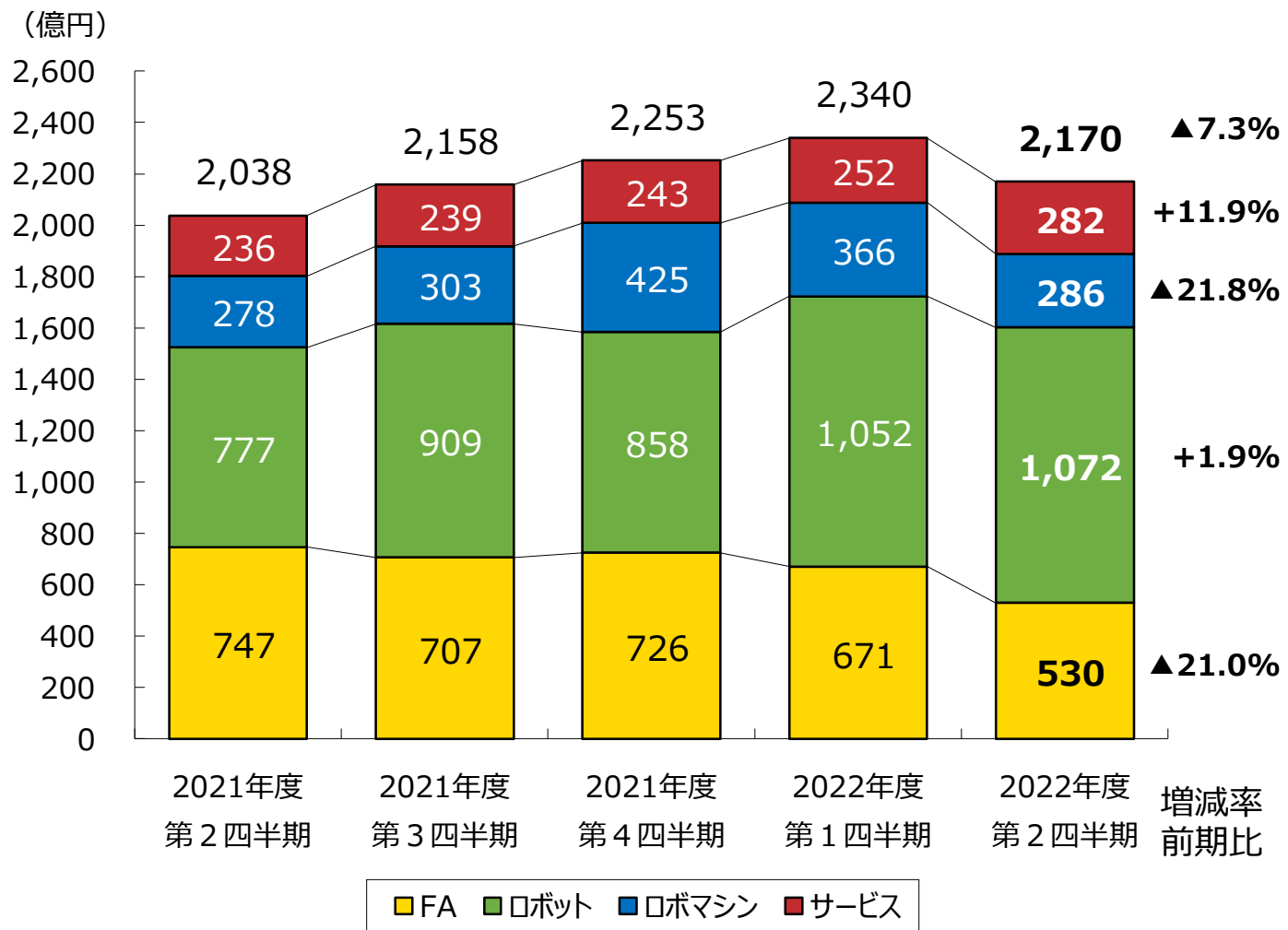
アジア (中国以外)	韓国でFAが減少。
中国	ロボマシンが減少。 FAが増加。
欧州	FA、ロボットが増加。
米州	ロボットが減少。 サービスが増加。
国内	FAが減少。 サービスが増加。



■国内 ■米州 ■欧州 ■中国 ■アジア(中国以外) ■その他

※中国で持分法適用会社が行っているサービスの売上高は連結売上に含まない  
■FA ■ロボット ■ロボマシン ■サービス

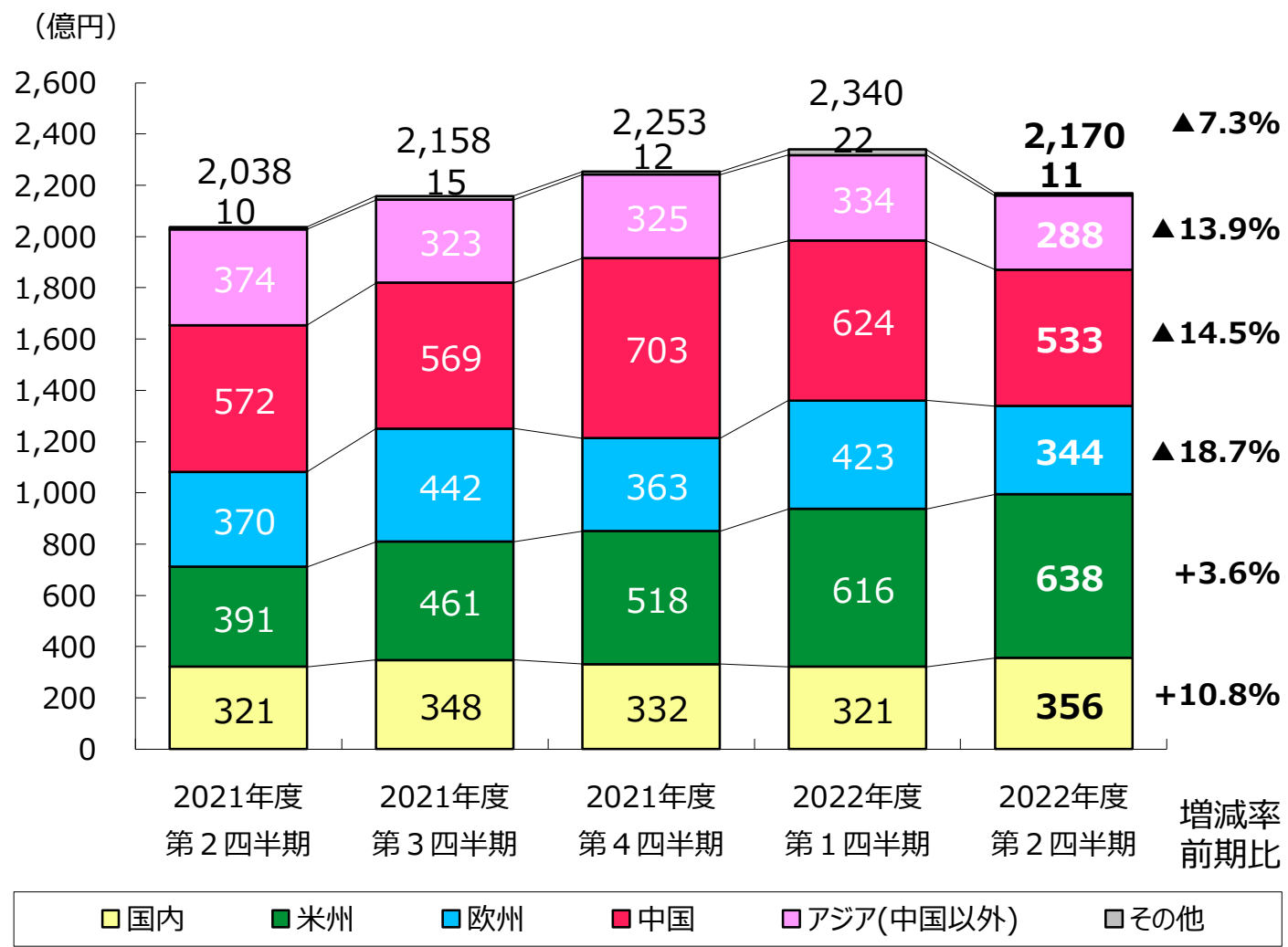
# 連結 部門別受注高



第2四半期 (3ヶ月) の状況 〔2022年度第1四半期との比較〕	
サービス	国内、米州で増加。
ロボマシン	中国で減少。
ロボット	中国で大幅に増加。 欧州で減少。
FA	中国で大幅に減少。 欧州、韓国、台湾で減少。 国内で増加。



# 連結 地域別受注高



第2四半期(3ヶ月)の状況  
〔2022年度第1四半期との比較〕

アジア (中国以外)	韓国、台湾でFAが減少。
中国	FAが大幅に減少。 ロボマシンが減少。 ロボットが大幅に増加。
欧州	FA、ロボットが減少。
米州	サービスが増加。
国内	FA、サービスが増加。

## 設備投資額・減価償却費・研究開発費

(金額単位：億円)

	2021年度 上期 (4~9月)	2021年度 通期	2022年度 上期 (4~9月)	増減額 前年同期比
設備投資額	134	411	231	+97
減価償却費	228	471	240	+12
研究開発費	247	500	253	+6

# 連結 通期業績予想

(金額単位：億円)

	2021年度		2022年度予想				増減率 前年比	増減率 前回予想比
			前回予想		今回予想			
		売上高比		売上高比		売上高比		
売上高	7,330	100.0%	8,257	100.0%	<b>8,057</b>	<b>100.0%</b>	+9.9%	▲2.4%
売上原価	4,374	59.7%	4,928	59.7%	<b>4,925</b>	<b>61.1%</b>	+12.6%	▲0.1%
営業利益	1,832	25.0%	1,984	24.0%	<b>1,817</b>	<b>22.6%</b>	▲0.8%	▲8.4%
経常利益	2,134	29.1%	2,301	27.9%	<b>2,170</b>	<b>26.9%</b>	+1.7%	▲5.7%
特別損益	▲5		-		-		-	-
純利益	1,553	21.2%	1,669	20.2%	<b>1,595</b>	<b>19.8%</b>	+2.7%	▲4.4%
為替レート								
円/1USD	112.38		126.14		<b>131.99</b>			
円/1EUR	130.56		135.78		<b>134.36</b>			

2022年度下期  
為替レート想定

円/1USD 130円  
円/1EUR 130円

純利益=親会社株主に帰属する純利益

# IMTS 2022 出展報告 (1/4)

## 概要

## International Manufacturing Technology Show 2022



(写真提供：IMTS)

会期：2022年9月12日～17日

場所：米国・シカゴ マコーミックプレイス

来場者数：86,307名

出展社数：1,816社

- 世界四大工作機械見本市の一つ
- 4年振りのリアル開催となり多くの来場者で盛況
- デジタルマニュファクチャリング、ロボットによる自動化のトレンドがみられ、ファナックの展示の方向性と一致していた
- ファナックブースでは、上記トレンドのみならず、最新商品・技術の展示を行い、多くの来場者を得た

# IMTS 2022 出展報告 (2/4)

## FA展示

- 生産性向上の要望に応える最新のCNC・サーボ、高品位加工やサイクルタイム短縮の技術を紹介
- デジタル技術で加工作業を効率化する、リアル志向のCNCデジタルツインに高い評価
- 工場設備の稼働率向上を支援するIoT商品では、ファナック独自の予防保全技術が好評



# IMTS 2022 出展報告 (3/4)

## ロボット展示

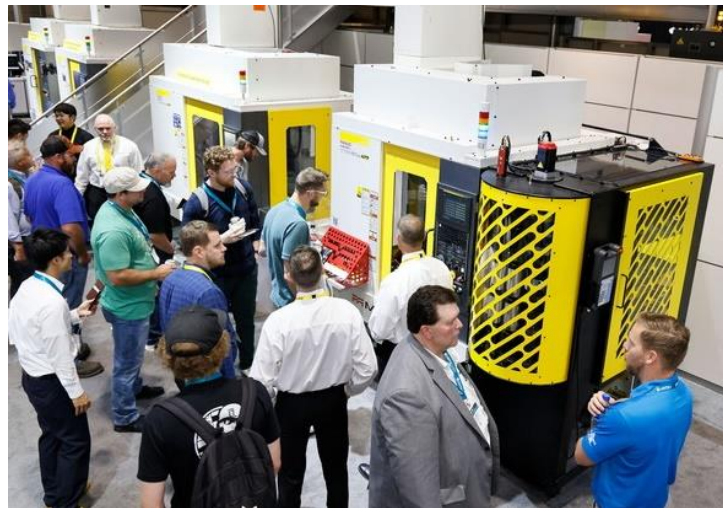
- 様々なアプリケーションを計24システム展示し、連日多くの来場者で盛況
- 協働ロボットの各種体験デモにより、簡単に使えるロボットであることをアピール
- 自動経路生成機能を活用した教示レスのバラ積み取り出しを実演、実用性をアピール
- 大ロボットによる完成車体のハンドリング展示が高い集客効果



# IMTS 2022 出展報告 (4/4)

## ロボマシン展示

- ロボマシンの最新機種 8 台を出展 (ロボドリル 5 台、ロボカット 2 台、ロボショット 1 台)
- ファナックの強みを活かし、8 台中 4 台で実用的なロボットシステム展示
- 加工・成形実演により基本性能と信頼性の高さをアピール
- 省エネルギー機能、稼働監視ソフトウェアによる消費電力の見える化など、環境負荷低減を提案



(写真提供：IMTS)